

## 新春の集い、100名を超える参加で盛況！

辛坊治郎さんを囲んで・・・「奇跡の連続の生還！」

去る1月19日（日）恒例のOTYC新春の集いを開催。会場のヨットハウス1階の会議室は100名を超える参加者で賑わった。



ユーモアたっぷり、  
さすが人気ニュース  
キャスター！！



昨年6月8日、クラブ艇10数艇で見送ってから半年余り、ブラインドセーラーヒロさんとのWハンド太平洋横断は、まさかのマッコウクジラとの遭遇で、残念な結果となったが、その後の生還劇は教訓と示唆に富んだお話の宝庫。奇跡の連続。

- ・ブリストルチャネルカッターってどんな船？
- ・通信・放送機器はどれほど積んでいたの？
- ・水や燃料はどれほど積んでいたの？
- ・小名浜からの進路は「南へ」
- ・衝突の瞬間からライフラフト展開までの模様
- ・映像記録SDカードはどのように回収？何が写っていた？
- ・ライフラフトにどのように乗り移ったのか？
- ・ラフトの居心地は？
- ・P3C、US IIのエピソード

などなどの疑問に見事に応えていただきました。ヨット乗りとしてはめっちゃ興味深い二度と聞けないお話でした。



さすが人気キャスターだけに、ユーモアにあふれたお話（クジラベーコンのあたり？）は楽しく、興味深く、あっという間の2時間でした。

今回の航海で、セーラーとして一段と鍛えられた辛坊さん、何時、どんな・・・と言う具体的な計画はないが、「いつでも出れるように・・・」という気持ちで、現在39F艇の整備を進めておられるとか。

最後に「今回の生還は奇跡の連続。何に？かは分からないが、自分は生かされている！せっかく生かされているのだから、・・・」という思いに駆られている。とのこと。午後の小宴にも「車なので飲めない…」と愚痴りながらもたっぷりお付き合いいただきました。辛坊さん！超多忙な中、貴重なお話と交流、有難うございました。（市川記）

